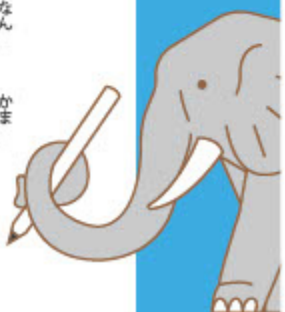


54字の物語を作ってみよう！



(1) 単語を10個並べよう

まず、題材を決めましょう。目の前に置いてある物、好きな動物、何でも構いません。思いつかなくなったら、しりとりで単語を10個つなげてみましょう。

例

りんご ゴリラ ライトアップ プール 留守番電話
割り箸 小学校 歌 速捕 **ホタル**

ひらきみていっせ

(2) あたりまえを書き出そう

(1) から1つ選んで、それにまつわる「あたりまえ」なことを書き出してください。

例

ホタル …… **光る** 飛ぶ 川の近くに棲んでいる 小さい
昆虫である 生きている 実在する

ひらきみていっせ

(3) 逆にしたり間違えたりしよう

(2) から1つ選んで、それを元に反対のことや嘘の情報を書いてみましょう。

例

ホタル ↓ 光る …… **光らない** **まぶしいくらい光る**
光を吸収する 虹色に光る ビームが出る

ひらきみていっせ

(4) なぜ？ どうなる？ を妄想しよう

(3) から一つ選んで、「なぜそうなったのか？」「そうなるってどんなことが起るのか？」を妄想してみてください。突拍子もないことで構いません。

例1 まぶしいくらい光るホタル

●なぜそんなに光るの？ ↓ 特別なエネルギーを持っているから

もうすぐ大規模な停電が起こるから

●そんなに光るとどうなる？ ↓ 空に飛んで行って星になる

川辺が昼間みたいになる

↑

(5) 2文に分けて書いて

(4) のうち一つのイメージを膨らませて文章にしましょう。

友だちや家族に冗談で話すようなイメージで、自由に書いてみましょう。

例1 夜空に輝いている星の正体、知ってる？

あれ実は、成長して明るい光を放つようになったホタルなんだって。

例2 ホタルの中には、まぶしいくらいに光るヤツもいるんだって。

そのホタルは、空高く飛んで、夜空の星になるんだよ。

元のアイデアが同じでも、イメージの膨らませ方や伝える順序によって印象が変わることがわかると思います。

1文目で「ん？」と思わせて、2文目で「なるほどー」と思わせるのがコツです。

↑

54字の物語



9×6

●基本ルール

1. 文字数は54字ぴったりにおさめること
2. 句読点やカギ括弧も1字と数えること (ただし、最初の1マスは空けなくてよい)

例①

夏に成長したホタルたちは、光を増しながら空へ向かって飛び立ってゆく。たくさんの星が見えるようになるのは冬頃。(54字)

冬になると星がきれいに見える理由を、「夏に成虫になったホタルが半年かけて空へ飛んでいくから」と想像した作品。アイデアが同じでも人によってまったく違う作品になるのも、54字の物語の面白いところです。みなさんも、「#54字の物語」のハッシュタグを使って、SNSにオリジナル作品を投稿してみてください！

例②

絶滅危惧種のホタルを大量に繁殖させることに成功したが、すべて脱走してしまった。その日から、夜空の星が増えた。(54字)

過去に行ったワークショップでは、参加者から次のような作品が生まれました。

語調や話者の視点を変えたり、単語を置き換えたり、無駄な文を削ったりして、文字数を調整しましょう。

(6) 54字に整えよう

※「未来屋54字の文学賞」に応募される場合は、専用の応募ハガキをご使用のうえ、作品をご投稿ください。